

第 38 回土木計画学研究発表会（秋大会）：2008 年 11 月 1 日～3 日（和歌山大学）
セッション討議内容の記録

セッション名：信号交差点	
日付：11月 1日（土）曜日、セッション時間：15：00～16：30	
司会者名（所属）：嶋田喜昭（大同工業大学）	
討 議 内 容	セッション全体： 信号交差点の流入部車線（左折直進レーンと直進レーン）の利用率の差が交差点交通容量に及ぼす影響、カウントダウン式車両用信号の導入に向けた円滑・安全性の検証、ならびに歩者分離式信号制御導入前後の危険度の変化についての各研究発表がなされ、信号交差点における円滑性や完全性の向上に関して活発な討議がなされた。
	（発表番号）発表者名（所属）：(137) 吉原一如（日本アイ・ビー・エム株式会社） ・「過飽和」の定義について ・左折車混入率や交通流率等と、第一車線（左折直進レーン）利用率の関係について
	（発表番号）発表者名（所属）：(138) 加藤健太（名古屋工業大学） ・「発進遅れ」と「反応時間」の違い・捉え方について ・黄色現示の位置付け、追従の危険性について ・カウントダウン式の有り無し（With と Without）の実験方法について
	（発表番号）発表者名（所属）：(139) 増山淳（名古屋工業大学） ・導入前後の 効果 という捉え方について ・車や歩行者が危険(違反)行動を起こす要因について